

栄小研究部通信

一人一実践:体育科【1の1 金子先生】～振り返り～

1 授業参観シートより先生たちの声「1. 評価基準の設定について」

- すべての子どもがカメラを見て、自分の動きを確認するなど、これまでの指導の成果が表れていた。
- 工夫を子どもたちにどのように捉えさせるかが難しいと思いました。工夫ではなく、子どもたちには「～コースのクリアのコツは？」のような発問だとさらに、「おはなしタイム」が盛り上がったのかなと思いました。



- 自分の課題に合わせて場を選べるようになっており、工夫して取り組めるような環境づくりができていたと思いました。
- 工夫してやってみよう！やってみよう！成果を確かめよう！みんなに伝えよう！ 基準の設定が子どもたちにぴったりでした。交流を1年生みんなのでできるのがすごい！

2 授業参観シートより「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- 1年生がタイムシフトカメラを見ることに慣れている点に驚きました。運動後に自分の動きと友達の動きも見て、思考をする場面が見られました。
- タイムシフトカメラによって、自分の動きを確認することができるので、どのようにすればよいのかを考える大きなきっかけになっていた。
- 子どもたちが、みんなとても嬉しそうにカメラを確認していたことが、とても印象的でした。もちろん、カメラを見て考えることも大切ですが、子どもたちの意欲の向上にもとても効果的だと感じた。



- タイムシフトカメラを活用することで、自分の技を見ることができ、自分の技の改善や、他人と自分の技の比較にもつながると感じました。
- 1年生なので自分の技を見て改善するということが難しい子もいるのかなと思いましたが、毎回振り返りを続けていくことで、見る力もついてくるのかなと感じました。
- 発達段階的にも、自分の姿を見て学べる場所がいいなと思いました。
- アナログのマット技のラミネートをみんな見てやっていた。絵から「あ、間違っていた」「手をつくのか」などの気付きも生まれていました。

3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」



- ・導入段階で3つのねらいを確認し、終末段階でそれらの3つを達成した場合には花マルをつけるなどの方法が子どもにとってわかりやすいと思った。
- ・「今日も花マルだった」とうれしそうに話す子もいて、毎時間の積み重ねが感じられました。体育は活動と振り返りのバランスが難しいと思いますが、どうして◎だったのか口頭でも言語化していくのもいいと思いました。
- ・1年生で振り返りというのは難しいと思いますが、学びの振り返りがすごくできる子どもたちだと思いました。

4 授業参観シートより先生たちの声「4. その他」



- ・壁逆立ちをどのように工夫したのかについて「2回目は手を壁に近づけたので上手くできた」と発言した子どもの姿を見て、日頃の指導の成果を感じた。その発表を聞いた子どもたちが手に壁を近づけながら、何度もチャレンジし、最後に葵ラインを越えて喜んでた。素晴らしいです！
- ・環境設定が子ども達の意欲を向上させ、楽しみながら活動していました。
- ・説明のシートもわかりやすく、子どもたちのスムーズな活動につながっていました。

- ・指示にたいする切り替えのスピードや後片付けの一生懸命さなど、これまでの金子先生の指導の積み重ねが感じられました。
- ・子どもたちの興味・感心を高めつつ、主体的に参加できる環境を整えることは、何よりも大切だと気づかせていただきました。
- ・汗をかく体育をしており、子どもたちが意欲的に学んでいると思いました。
- ・タイムシフトカメラはとても便利で、どの学年の学習にも有効活用できそうなので、今後使ってみたいと思います。



- ☆1年生がタイムシフトカメラをしっかりと確認する姿からも、普段からタブレットを使って様々な活動をしているその積み重ねを感じました。
- ☆子どもたちが楽しくいきいきと活動するための環境づくりなど、改めて大切だなと実感させられた授業でした。金子先生、お忙しい中授業を公開していただき、ありがとうございました。
- ☆先生方におかれましては、冬休み前のお忙しい時期にも関わらず、授業参観シートのご記入、ありがとうございます。

